

真校魅力だより その13

真室川校の伝統と誇りをつなぐ～全校ボランティア・校歌応援歌練習～

◆全校ボランティア（5月2日(月)）

この活動は、真室川校生徒会のメインテーマである「地域を愛し地域に生きる」を具現化するために毎年行っています。今年度は全校生徒34名が、駅エリアを清掃する班と通学路やマラソンコースなどの道路周辺をごみ拾いする班に分かれ、町内の環境美化活動を行いました。

駅エリア班はホームや通路、跨線橋のクモの巣取りや清掃を行いました。3つのコースに分かれたごみ拾い班は、道路周辺に捨てられている空き缶や空き瓶、ペットボトルなどを回収し、1時間半ほどでごみ袋20個分と大量なものになりました。

初めてボランティア活動を終えた1年の荒木英美梨さんは「地域の方に喜ばれる活動が出来た。もっときれいな町にしたい」と話してくれました。また、駅前の町民の方からは「毎年、清掃活動をやってくれるので大変有難いです」と感謝の声をいただきました。



◆校歌・応援歌練習（4月26日(火)～28日(木)）

この校歌・応援歌練習は、真校生としての自覚と誇りを持ち、志気を高めることを目的に毎年行っています。今年は入学したばかりの1年生に早く覚えてもらうため、応援団が作成した校歌・応援歌・応援団歌の動画を見てもらい、教室に歌詞を掲示しました。練習はコロナ感染防止のためにマスクを着用し、間隔を大きく取って行いました。初日は1年生にとって初めての練習だったので、先輩方の迫力に圧倒されたのか、なかなか大きな声を出せませんでしたが、最終日の3日目に体育館から場所を移した桜満開のグラウンドでは大きな声を出せるようになっていました。応援団長の長沼樹良さんは「歌詞をしっかりと覚え、返事も大きい声で出来るともっと良くなります。何事も全力で取り組むことの大切さを感じてほしい」と話してくれました。



ようこそ先輩!!

vol.4

真室川校の卒業生は、様々な職業や進学をして多方面で幅広く活躍をしています。そんな先輩方の思いや後輩たちへのメッセージをお届けします。



かえて
渡部 楓さん
(平成28年度 卒業生)
酒のやまや新庄店勤務

～自分の好きなことを仕事にして頑張っています～

真室川校は少人数のため、先生が生徒一人ひとりの個性をしっかり把握して、それを活かす指導やアドバイスなどを親身にしてくれる学校だと思います。私は元々人と話すのが苦手でしたが、高校に入り先生から「あなたは接客がまっている」と言われたことがきっかけで前向きに考えるようになり、「あいさつ」や「思いやり」の大切さなどを学びました。おかげで人と話すことが好きになり、すぐに打ち解けることが出来るようになりました。今は自分でも接客業が合っていると思います。これは先生のおかげです。卒業後は、地元で就職して地域に貢献したいと考えていました。自分の好きなことを仕事にしたいと現在の職場に就職して接客や品出し、レジやエリアごとの提出書類の作成事務など多岐にわたって頑張っています。今は昇進試験やワインのソムリエにも挑戦したいと思っています。

高校の頃は失敗することも勉強になります。今後の糧になります。難しいことですが、他人に流されず自分の意思を貫き個性を活かして社会で頑張ってほしいです。